

2021年2月8日

各 位

会 社 名 株式会社東急レクリエーション
 代表者名 代表取締役社長 菅野 信三
 (コード番号 9631 東証第2部)
 問合せ先 財 務 部 長 相澤 巧一
 (TEL 03-3462-8870)

特別損失の計上、通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年12月期第4四半期(2020年10月1日～2020年12月31日)におきまして、特別損失を計上するとともに、2020年5月1日に未定としていた2020年12月期通期業績予想及び配当予想について下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、保有する固定資産に減損の兆候がみられたため減損損失1,082百万円を特別損失として計上いたします。

2. 2020年12月期通期連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想(B)	21,664	△1,257	△1,388	549	86円06銭
増減額(B)－(A)	－	－	－	－	－
増減率(%)	－	－	－	－	－
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	32,806	1,827	1,755	703	110円13銭

3. 修正の理由

通期の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難でありましたため、これまで未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえ、通期連結業績予想を算定いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループはお客様や従業員の安全を第一に考え、4月の政府による緊急事態宣言と自治体の休業要請を受けて大部分の施設にて臨時休業を実施いたしました。5月の緊急事態宣言解除後は、政府、自治体及び関係団体からのガイドラインに基づき、適切な感染対策に取り組んでまいりましたが、営業上の制約や感染不安による外出自粛などの影響により、映像事業やライフ・デザイン事業の売上高は大幅な減少となりました。また、上記1に記載の減損損失1,082百万円を含む特別損失1,119百万円を第4四半期に計上いたしました。また、2020年11月20日に公表しました「固定資産の一部譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」にあります通り、特別利益を同四半期に計上したことにより親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、549百万円を計上する見込みとなっております。

4. 配当予想について

(1) 2020年12月期配当予想

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想		未定	未定
今 回 修 正 予 想		10.00	10.00
当 期 実 績	0.00		
前 期 実 績 (2019年12月期)	15.00	15.00	30.00

(2) 配当予想の理由

当社では、株主の皆さまに対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けており、安定配当の維持・継続を基本方針とし、過去の実績、会社の財産状況、今後の展望および配当性向水準などを勘案して配当を決定いたしております。

期末配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により通期業績予想を合理的に算出することが困難なことから未定としておりましたが、上記業績予想を踏まえ、配当予想を公表いたします。通期業績予想は上記のとおり、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、営業利益、経常利益ともに大幅な損失となる見通しであり、この厳しい経営環境は当面継続することが予想されます。このため、期末配当につきましては、財務体質の健全化、手元流動性の確保など経営の安定をはかることを最優先とする観点から、誠に遺憾ではございますが減配とさせていただきます、1株当たり10円00銭を予定しております。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。

以上